

提案趣旨説明書

〈作品タイトル〉

moyaiko! 三河安城 < Sports × Digital & ケンサチ >

〈提案の趣旨〉

■ エリア CONCEPT～ Sports × Digital & ケンサチで『もやいこ※』～

※ もやいこ：三河地方の方言で『一緒に何かする』という意味

- ・ 「通過するまち」から「集い・交わり・賑わうまち」へ
- ・ (仮称) 新シーホースアリーナ建設を機に、スポーツをする/みる目的を持った人々が集い、地元住民・地元企業と交わり、一緒に賑わうエリアに変貌を遂げる
- ・ 最新のデジタルテクノロジーを積極活用して“交流拠点”、“発信(実験)拠点”、“防災拠点”として多様な人々が『もやいこ』するエリアを目指す

■ 提案内容サマリー

- ・ プロスポーツクラブが多く(例：プロ野球、Jリーグ、Bリーグ、Vリーグ等)、フィギュアスケーター等のプロスポーツ選手を多く輩出している国内有数の地域(愛知)に、B1所属のシーホース三河が新アリーナを建設する機会として、三河安城駅前エリアに新世代スポーツ施設と交流・滞留空間を中心とした最新デジタルテクノロジーを積極活用する新たなエリア創出を提案します。
- ・ このエリアでは、安城総合運動公園との関係性等を考慮し、東京オリンピック2020で新採用された新世代スポーツ(スケボー、3x3等)やeスポーツの各施設を三河安城駅前の公共空間を活用して設置することを提案します。
- ・ デジタル田園都市国家構想交付金などを活用しつつ、行政と事業者がタッグを組み、最新デジタルテクノロジーを利用者の利便性向上だけでなく、地域とのつながり創出(経済効果)やケンサチ2.0との連携(健康増進)、防犯・防災への活用などに幅広く活用していくことを提案します。

■ エリアが担う役割・機能

